

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 5年 12月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 刑部教室 保護者等数(児童数) 38 回収数 34 割合 89.4 %

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------------|---|----|---------------|-----|--------------------|---|----------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 22 | 8 | | 4 | ・教室の定員になった状態を見ていないので分からない。 | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 27 | | | 7 | | |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 20 | 4 | | 10 | | |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 34 | | | | | |
| | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 31 | 2 | | 1 | ・色んなプログラムを考えてくれている。 | |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 8 | 10 | 3 | 13 | | |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 34 | | | | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 34 | | | | ・送迎時の報告が丁寧。 | |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 32 | 2 | | | | |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 25 | 2 | 1 | 6 | ・利用数が少ない為、参加することがない。 | |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 24 | 1 | | 8 | ・対応の体制も苦情対応もどうなっているか分からない。 | 契約時にもう少し詳しく説明するように努める |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 32 | 2 | | | | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 22 | 7 | 1 | 4 | ・ブログをもっと更新してほしい。 ・更新頻度をあげてほしい。(写真だけでも可) ・HP更新時はLINE等で知らせてほしい。 | イベントだけではなく日常の様子も掲載する機会を設ける |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 30 | 1 | | 3 | ・ブログの顔をスタンプで隠している。 | | |
| 非常時 等の 対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 34 | | | | | |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 33 | 1 | | | | |
| 満足 度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 32 | 1 | 1 | | ・いつも楽しみにしている。 ・いつも笑顔で帰ってくる。 | |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 32 | 2 | | | ・個々に教材を用意してくれる。先生方のアイデアがたくさん。家でも参考にしたい。 | |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年12月20日

事業所名 こぱんはうすくら 刑部教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|-----|------------------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | 1 | | ・少しせまい。・ブロック遊びや読書をしている子の横で鬼ごっこが出来るスペース |
| | 2 職員の配置数は適切である | 7 | 1 | | ・送迎や昼食時、個別支援が必要な児童が多い時、手が薄 |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 5 | | | ・バリアフリーが必要な児童の受け入れをしていない為、記入なし(3) |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 8 | | | ・日報や会議の時に伝えている。 ・休んでいた職員の為に、重要事項については、何日かアナウンスしている。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 8 | | | ・HPにあり。・ガイドラインに沿って会議で話し合い。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 8 | | | ・HPにあり。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 7 | | ・外部評価は実施していない。 ・該当なし(1) |
| 適切な支援の提供 | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 8 | | | ・外部(心理系)、名部(会議)にて。 ・管理者が外部の研修に参加し、共有の為の内部研修を行っている。 |
| | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | | | ・新規利用時に、必ずアセスメントを実施、計画に反映。 |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 8 | | | ・標準化されたアセスメントツールを使用。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 8 | | | ・ある職員の起案について、複数の職員で事前の内部研修を行っている。 ・毎月のプログラムについて、職員間でミーティングを実施。 ・ネット等を参考に新しいプログラムを取り入れる。 ・昨年のプログラムを比較。参加児童の顔ぶれも見て実施。 |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 8 | | | ・長期休暇の際には、ふさわしいプログラムや月目標を設定している。 |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 8 | | | ・高い目標であれば、計画を変更し適宜作成。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | | | ・朝礼や昼に実施、確認。 |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8 | | | ・終礼で共有。翌朝にも伝えている。 ・特記事項は、併設の児童発達支援の職員とも共有。 |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 8 | | | ・児童の個別ファイルや複数のファイルにて、日々の記録を保存。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 8 | | | ・半年ごとにモニタリングを実施。 |
| 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 8 | | | ・外部交流など複数組み合わせている。 | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 8 | | | ・適宜参加。(関わりが多い職員を中心に) | |
| 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 8 | | | ・保護者の方へ、毎月の学校たよりの提出をお願いしている。 | |
| 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 8 | | | | |

| | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・該当者なし(7) ・近くの主治医と連携、緊急時に備えている。 ・服薬のみ対応。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・にじくらすの子どもは情報共有できる。 ・地域から途中ですてきた子は難しい。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 4 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・分からない、該当者なし(2) ・他機関とのやりとりなし。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | 2 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 7 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動会にダンス教室の子どもたちを招くなど、交流あり。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・部会がある。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や帰りの送迎時に、保護者と会話する機会を設けている。 ・半年毎のモニタリング、面接時に伝える。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・難しい所もある。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行っている。 ・見学者に対し説明を行うとともに、実際の支援の様子を見学しながら説明。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・各職員から相談事を受けとり、改善案を保護者にフィードバックしている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流の為のイベントあり。 ・バーベキュー等、親子で参加するイベントを開催。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・苦情に限らず、速やかに職員間で共有。 ・苦情窓口を配置している。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・行事やイベントは、ブログにて発信。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ブログにて、児童の顔、ロッカーの名札等が写っていたら消す。 ・職員が使う送迎表は、終了後シュレッダー。 ・ブログや外部発信時は複数人でチェックしている。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に伝えたり、LINEで再度確認をしている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 6 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の牛乳パック流しに参加。 ・可能なものがあれば参加。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・相談室の壁にマニュアルを掲示。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練あり(月1回)。 ・にじくらすと合同訓練あり(年1回)。 ・非常時の備品を定期点検。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年12月に実施。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明、了解を得ている。 ・計画目標の下記にも記載。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの子どもについて、おやつ(選択制)は他児と別のセットを用意。皿も分けている。 ・指示書はない。保護者から対応を伺っている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・事例発生時に作成後、周知。 |